

部活動の地域連携・地域移行に関するアンケートの結果概要（中学校教職員）

調査期間 令和 5 年 11 月 30 日（木）から令和 5 年 12 月 8 日（金）正午まで

対象者 文京区立中学校正規教員

調査方法 WEB 回答（対象者が二次元コード等を読み取り回答する）

回答率 69.4%

結果概要

問 4 「部活動の担当（顧問）をしている中で、どのようなことを負担に感じているか。」（複数回答可）
→上位 3 項目は、「帰宅時間が遅くなること」（79 名）、「休日に指導や引率すること」（74 名）、「教材研究の時間が減ること」（65 名）となっている。

問 6 「部活動の指導等が、長時間労働の一因になっている等の指摘がありますが、現在の部活動の在り方を変えることについて」
→「全面的に変えるべき」（46 名）、「実情に応じて部分的に変えるべき」（67 名）と、ほとんどが「変えるべき」と回答している。

問 7 「改革推進期間最終年度（令和 7 年度）までの部活動の「地域移行・地域連携」について」
→63 名が、「休日・平日を同時に「地域移行・連携」に移行する」と回答している。

問 8 「部活動の「地域移行・地域連携」の最も大きな課題」
→上位 3 項目は、「人材（指導者等）の確保」（48 名）、「責任の所在」（30 名）、「学校における部活動の位置づけ」（22 名）となっている。

問 11 「地域移行・地域連携」についての不安や懸念についての自由記述（抜粋）

- ・「中途半端な地域移行」が一番混乱を招く。
- ・学校がどのように関わることになるのかがわからない状況なので、どのくらいの負担になるかわからない。
- ・指導員の実で休日、祝日の指導が可能になるかどうか。
- ・指導者人材確保やケガ等の責任所在をはっきりさせられるか。
- ・地域移行と言いながら実質学校の施設を使い、問題が発生したとき（トラブルや怪我）学校に問題が持ち込まれないか。
- ・人材が見つからないことで結局教員が担わなければならないこと。
- ・地域移行した先でのトラブルの対応や、問い合わせ先の所在。
- ・地域移行できるところと、できないところが生じた場合の差。
- ・不安や懸念は全くありません。是非、全面的に地域移行をすべきだと思っております。

問 14 その他ご意見（抜粋）

- ・運動部などで将来的な競技者のレベルの向上を図るならば地域クラブ等に任せるほうが良い。学校生活の中における教育的効果を主眼とするならば現行通りが良い。
- ・教員の負担を減らしたいが、人材確保が難しいと聞いている。生徒が活躍したり、活動する場がなくなること自体には反対である。
 - ・将来的に地域に移行していくのであれば、学校とは切り離していくのが良いと思う。学校の部活動は、教育的配慮の伴った活動であり、地域のクラブ活動は、監督が絶対であり、勝利至上主義が多く見られる。その辺を一体どうするつもりでいるのかが見えません。
 - ・人材確保・予算確保を第一優先してもらいたい。
 - ・地域のクラブへの移行の場合、大会等の在り方で、中体連に頼るのではなく、クラブ等からも積極的に大会運営などに関わっていく体制を作る必要がある。
 - ・部活動の「地域移行・地域連携」はとても難しい問題だと思います。
 - ・部活動を維持していくのであれば、すぐにでも地域移行を進めるべきである。少なくとも一人一人の教員に、顧問希望の有無を確認し、希望しない教員に対して、指導を強制するようなことは根絶すべきである。